





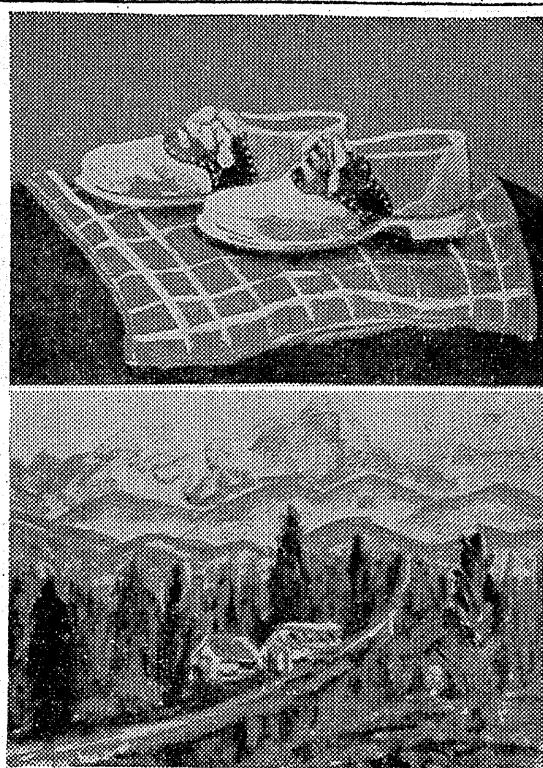


クレンミラー物語について  
七色に彩る

ドラム合戦

みのわ・たかお

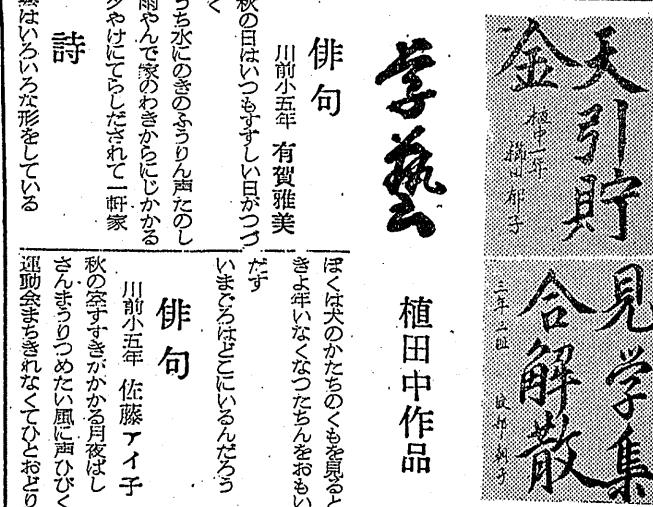
音楽の世界にクレン・ミラー・スネットリーナー、トマ・ペント等の新進的なトロントボーンの「ゴートー」などのタイルと云う一つの新しい獨特なトロントボーンの「ゴートー」の形を遺し、和やかな起伏ある半生を描き、一九四四年十二月十五日のです。



静物 一年 下山田勝子 風景 二年 清水紀男

旦那海嶺で築いた飛行機の故で死ぬまでの傳説的豪華歌が、彼の遺作として大ヒットした。月光のセレナード」この曲は彼の樂團のテーマ・ミコージックでもあり映画ではタイトルと云ふべきである。三つのセクションから構成され、ヨーロッパとして使われて居る。

映画に出で来る曲は、彼の「タキシード・シャンクション」が最も印象的である。同じ出征中のヒット曲、「イン・ザ・ムーダー」これも



川前小五年 有賀雅美

秋の日はいつかわらじて田がひづく

さよならひじりてぐるんだらわらず

だす

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

俳句

川前小五年 佐藤アイ子

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品

川前小五年 有賀雅美

秋の笛子がかかる月夜ばし

さんまつりたい風に声ひびく

ほんやど

いへのまどから

運動会が開かれてひとぢや

る

詩

川前小五年 西山弘毅

字鏡 植田中作品